

## 熊本市 感染症発生動向調査 速報



### 今週のピックアップ感染症

感染性胃腸炎が少しずつ増えてきました。年間を通じて発生しますが、冬に大きな流行がみられますので、感染予防に努めましょう。

#### ●感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。

##### ◆どんな病気？

- ・症状……吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。
- ・潜伏期間…1～3日程度(病原体により異なる)
- ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。
- ・流行期……ノロウイルスによる胃腸炎は11月～3月、ロタウイルスは2～3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。



##### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。
- ・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

##### ◆予防法は？

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール(ノロウイルスには無効)等でしっかり消毒しましょう。

期 間		平成29年 44週		平成29年 45週	
		10/30～11/5		11/6～11/12(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		4	0.16	6	0.24
RSウイルス感染症		19	1.19	5	0.31
咽頭結膜熱(プール熱)		16	1.00	9	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		27	1.69	30	1.88
感染性胃腸炎		53	3.31	88	5.50
水痘(みずぼうそう)		3	0.19	5	0.31
手足口病		20	1.25	18	1.13
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		18	1.13	8	0.50
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	3	0.19
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		6	1.20	17	3.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	2	0.40
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00